

nanoKONTROL Control Surface plug-in for GarageBand/Logic

■本プラグインについて

nanoKONTROL Control Surface plug-in for GarageBand/Logicは、Apple GarageBand/Logic ProでnanoKONTROLを動作させるためのプラグインです。

nanoKONTROL側の細かい設定は一切不要です。本プラグインをお使いのMacにインストールするだけで抜群の操作性を提供します。

■動作環境

- ・GarageBand '09 以降、Logic Pro/Express 8 以降
- ・上記ソフトウェアの動作環境を満たすMac本体とMac OS X

■インストールの前に

nanoKONTROL Control Surface plug-in for GarageBand/Logic を使用するときは、事前に KORG USB-MIDI ドライバのインストールが必要です。コルグ・ホームページより KORG USB-MIDI ドライバをダウンロードし、付属のドキュメントにしたがってインストールしてください。

(<http://www.korg.co.jp>)

nanoKONTROL Apple Logic Pro 用テンプレート・データをご使用の場合

Apple Logic Pro において、KORG web サイト上で配布していた nanoKONTROL Apple Logic Pro 用テンプレート・データを設定している場合、本プラグインをインストールすると Logic Pro/Express を正常にコントロールできなくなります。本プラグインをインストールする前に、必ず以下の手順で nanoKONTROL Apple Logic Pro 用テンプレート・データを削除してください。

・nanoKONTROL のコントローラアサインメント情報を削除する

メニューの「Logic Pro」-「環境設定」-「コントロールサーフェス」-「コントローラアサインメント ...」を選択し、コントローラアサインメント設定ウィンドウを開きます。

表示が「簡易表示」になっている場合は、[エキスパート表示] ボタンをクリックして「エキスパート表示」に切り替えます。

“ゾーン” 中の「nanoKONTROL」を選択し、キーボードの [delete] キーを押します。nanoKONTROL のコントローラアサインメント情報が削除されます。

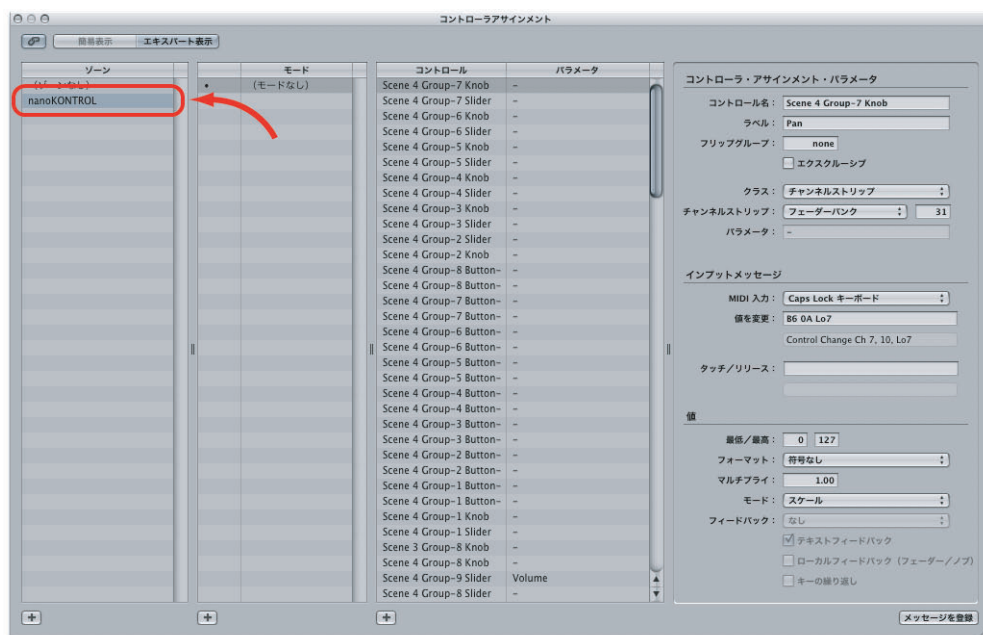


図 1. コントローラアサインメント設定画面 (Logic Pro 8)

バージョン 1.0 からのアップデート

Apple Logic Pro/Express において、nanoKONTROL Control Surface plug-in バージョン 1.0 からアップデートする場合、コントロールサーフェス設定ウィンドウ上に 2 台の nanoKONTROL が表示され、正常にコントロールできない場合があります。

この場合は、「Logic Pro/Express」 - 「環境設定」 - 「コントロールサーフェス」 - 「設定 ...」を選択してコントロールサーフェス設定ウィンドウを開き、表示されている 2 台の nanoKONTROL を選択して [delete] キーを押し nanoKONTROL の情報をすべて削除した後、Logic Pro/Express を再起動してください。

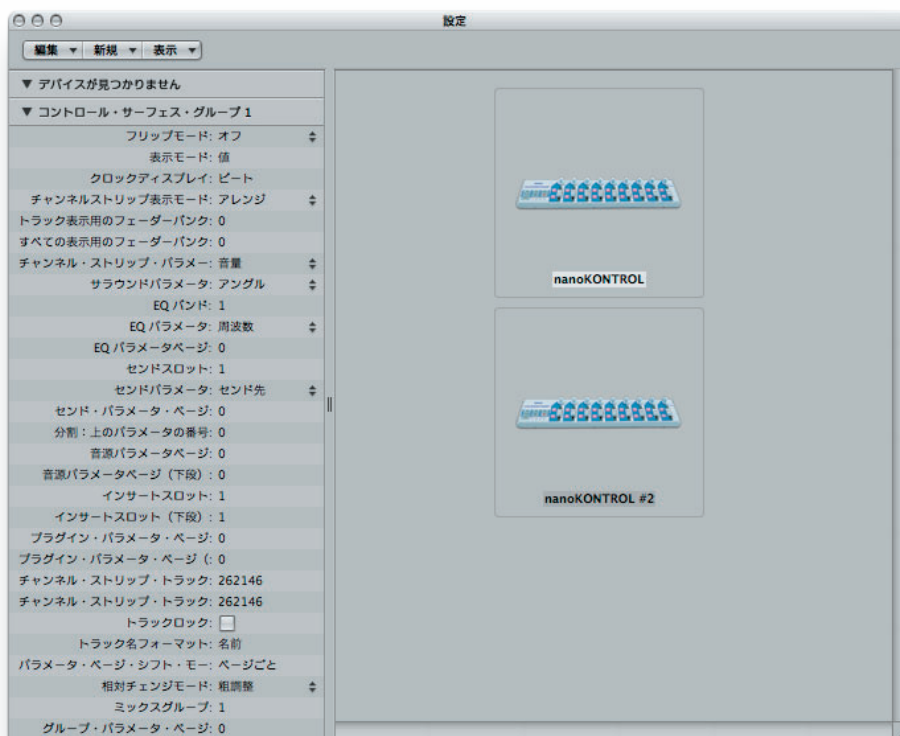


図 2. コントロールサーフェス設定画面 (Logic Pro 9)

■インストール方法

GarageBand、Logic Pro/Expressを起動している場合は終了します。

インストーラー (nanoKONTROL-CsPlugIn.pkg) を起動し、表示される指示に従ってインストールしてください。

※アンインストール方法

以下の手順でアンインストールします。

GarageBand をご使用の場合

以下のファイルとフォルダを削除してください。

/Applications/KORG/nanoKONTROL Control Surface plug-in

~/Library/Preferences/com.apple.garageband.cs

/Library/Application Support/MIDI Device Plug-ins/nanoKONTROL.bundle

Logic Pro/Express をご使用の場合

Logic Pro/Express のメニューから「Logic Pro/Express」-「環境設定」-「コントロールサーフェス」-「設定 ...」を選択してコントロールサーフェス設定ウィンドウを開きます。nanoKONTROL のアイコンをクリックして選択し、キーボードの [delete] キーを押して nanoKONTROL の情報を削除してください。

nanoKONTROL の情報を削除後、Logic Pro/Express を終了してから以下のファイルとフォルダを削除してください。

/Applications/KORG/nanoKONTROL Control Surface plug-in

/Library/Application Support/MIDI Device Plug-ins/nanoKONTROL.bundle

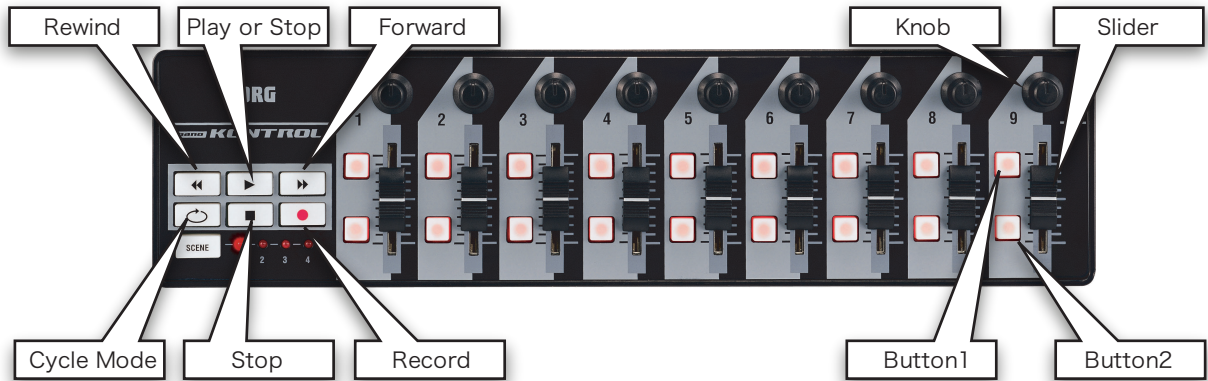
■GarageBand Scene Assignments

・全シーン共通事項

Transport 部分は Scene1 ~ 4 全てに共通しています。

Slider9 にアサインされている Master Volume も Scene1 ~ 4 の全てにおいて共通です。

Stop ボタンを押しながら Rew ボタンを押すと、再生位置を曲の先頭に移動できます。



・ Scene 1: Mixer

各トラックの Volume, Pan, Mute の On/Off, Solo 再生の On/Off のコントロールを行います。

選択している Fader Bank 内のトラックを最大 8 つまで操作可能です。

(図 3 では、アイコンの左側に黄色い線が入っている 8 つのトラックが操作対象です。)

nanoKONTROL 側 の Button9(Previous/Next Fader Bank) を操作することで、8トラック単位で操作対象の切替が可能です。

(例えば、操作対象トラックが Track1 ~ 8 の状態の時に下側の Button9(Next Fader Bank) を押すと、操作対象が Track9 ~ 16 に切り替わります。)



図 3. GarageBand メイン画面
(GarageBand' 09)

Scene 1: Mixer

Control Group		1	2	3	4	5	6	7	8	9
Knob	Assign	Pan 1	Pan 2	Pan 3	Pan 4	Pan 5	Pan 6	Pan 7	Pan 8	
Slider	Assign	Volume 1	Volume 2	Volume 3	Volume 4	Volume 5	Volume 6	Volume 7	Volume 8	Master Volume
Button 1	Assign	Mute 1	Mute 2	Mute 3	Mute 4	Mute 5	Mute 6	Mute 7	Mute 8	Previous Fader Bank
Button 2	Assign	Solo 1	Solo 2	Solo 3	Solo 4	Solo 5	Solo 6	Solo 7	Solo 8	Next Fader Bank

• Scene 4: Track Sound Generator Parameters

選択している 1 つのトラックの、ソフトウェア・シンセサイザーのパラメーターをコントロールします。(※1)

Sound Generator に Audio Units を設定している場合は、そのパラメーターを操作可能です。(※2)

この Scene では、nanoKONTROL 側のノブとスライダー (Parameter1、2 …) が画面上のパラメーターに上から順に対応しています。(※3)

16 個を超えるパラメーターを持つソフトウェア・シンセサイザーを音源として使用している場合、nanoKONTROL 側の Button9(Previous/Next Instrument Parameter Page) を操作することで操作対象パラメーターを 16 個単位で切替可能です。(画面表示は変化しません。)

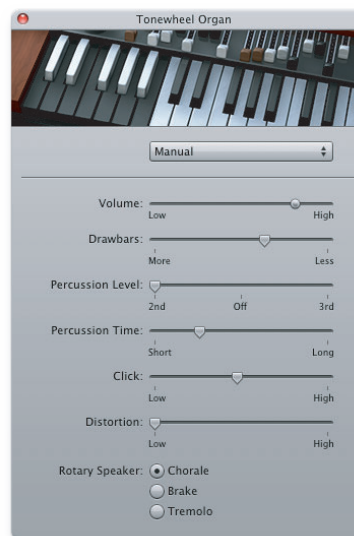


図 5. Track Sound Generator Parameters 設定画面 (GarageBand' 09)

※1 オーディオ・トラックでは、この Scene のアサインは無効です。

※2 Audio Units を設定している場合、パラメーターのリストが画面上に表示されません。どのパラメーターが動くかは使用している Audio Units プラグインによって異なります。

※3 使用する音源により、パラメーター数が変化します。

Scene 4: Track Sound Generator Parameters

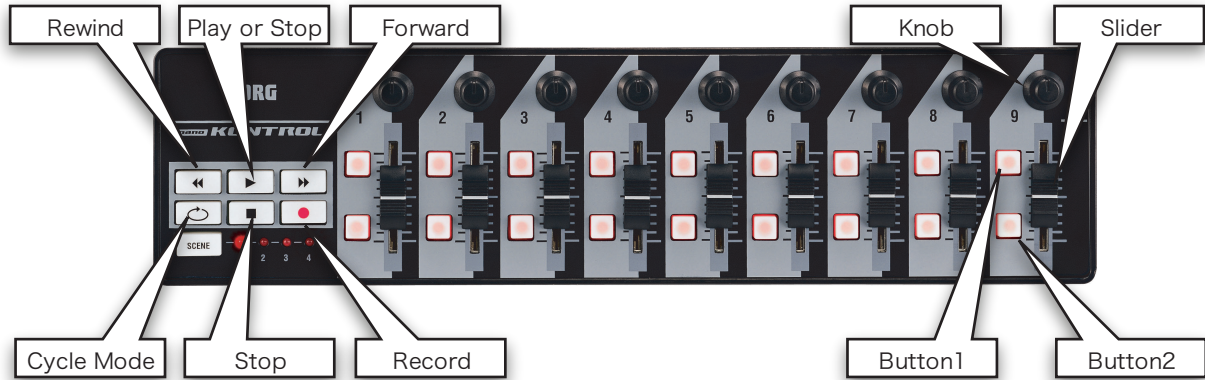
Control Group										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
Knob	Assign	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	
Slider	Assign	Parameter 9	Parameter 10	Parameter 11	Parameter 12	Parameter 13	Parameter 14	Parameter 15	Parameter 16	Master Volume
Button 1	Assign	Mute								Previous Instrument Parameter Page
Button 2	Assign	Solo								Next Instrument Parameter Page

■ Logic Pro/Express Scene Assignments

・全シーン共通事項

Transport 部分は Scene1 ~ 4 全てに共通しています。

Slider9 にアサインされている Master Volume も Scene1 ~ 4 の全てにおいて共通です。



・ Scene 1: Mixer

各トラックの Volume, Pan, Mute の On/Off, Solo 再生の On/Off のコントロールを行います。

選択している Fader Bank 内のトラックを最大 8 つまで操作可能です。

(図 6 では、アイコンの左側に白い線が入っている 8 つのトラックが操作対象です。)

nanoKONTROL 側 の Button9(Previous/Next Fader Bank) を操作することで、8トラック単位で操作対象の切替が可能です。

(例えば、操作対象トラックが Track1 ~ 8 の状態の時に下側の Button9(Next Fader Bank) を押すと、操作対象が Track9 ~ 16 に切り替わります。)

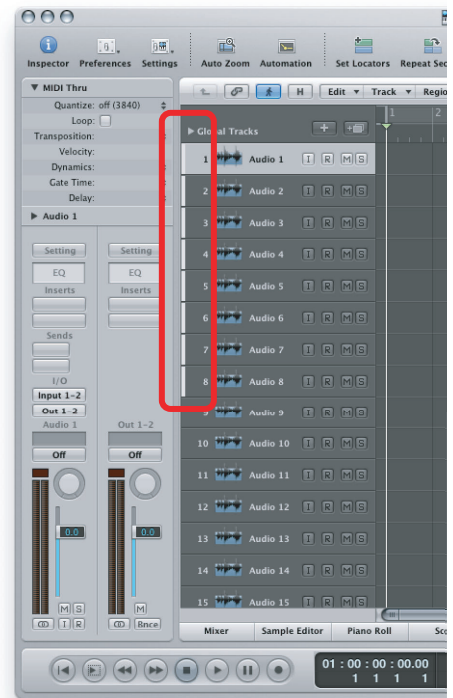


図 6. Logic Pro メイン画面 (Logic Pro 8)

Scene 1: Mixer

Control Group		1	2	3	4	5	6	7	8	9
Knob	Assign	1: Pan	2: Pan	3: Pan	4: Pan	5: Pan	6: Pan	7: Pan	8: Pan	
Slider	Assign	1: Volume	2: Volume	3: Volume	4: Volume	5: Volume	6: Volume	7: Volume	8: Volume	Master Volume
Button 1	Assign	1: Mute	2: Mute	3: Mute	4: Mute	5: Mute	6: Mute	7: Mute	8: Mute	Previous Fader Bank
Button 2	Assign	1: Solo	2: Solo	3: Solo	4: Solo	5: Solo	6: Solo	7: Solo	8: Solo	Next Fader Bank

• Scene 2: Send

各トラックの Send 先が指定してある場合、Send1/2 のセンドの値と、その On/Off をコントロールします。

Scene1 と同様、Fader Bank として選択されている 8 つのトラックの Send1/2 のコントロールができ、Button9 で操作対象トラックの切替が可能です。

Scene 2: Send

Control Group		1	2	3	4	5	6	7	8	9
Knob	Assign	1: Send 1	2: Send 1	3: Send 1	4: Send 1	5: Send 1	6: Send 1	7: Send 1	8: Send 1	
Slider	Assign	1: Send 2	2: Send 2	3: Send 2	4: Send 2	5: Send 2	6: Send 2	7: Send 2	8: Send 2	Master Volume
Button 1	Assign	1: Send 1 Mute	2: Send 1 Mute	3: Send 1 Mute	4: Send 1 Mute	5: Send 1 Mute	6: Send 1 Mute	7: Send 1 Mute	8: Send 1 Mute	Previous Fader Bank
Button 2	Assign	1: Send 2 Mute	2: Send 2 Mute	3: Send 2 Mute	4: Send 2 Mute	5: Send 2 Mute	6: Send 2 Mute	7: Send 2 Mute	8: Send 2 Mute	Next Fader Bank

• Scene 3: Track EQ Parameters

選択している 1 つのトラックの EQ パラメーターをコントロールします。

トラックに Channel EQ または Linear Phase EQ を設定している場合、そのパラメーターの操作が可能です。

(Channel EQ、Linear Phase EQ 以外の EQ が設定してある場合は動作しません。)

nanoKONTROL 側 の Button9 (Previous/Next All EQs Parameter Page) を操作して EQ バンドを切り替えることで、前半 4 バンドと後半 4 バンドの全てのバンドのパラメーターを操作できます。

Button8(Select Previous/Next Track) を操作することにより、操作対象トラックが前後のトラックに切り替わります。

(例えば、Track3 の EQ を操作している場合、上側の Button8 (Select Previous Track) を操作することで、Track2 の EQ パラメーターが操作できるようになります。)

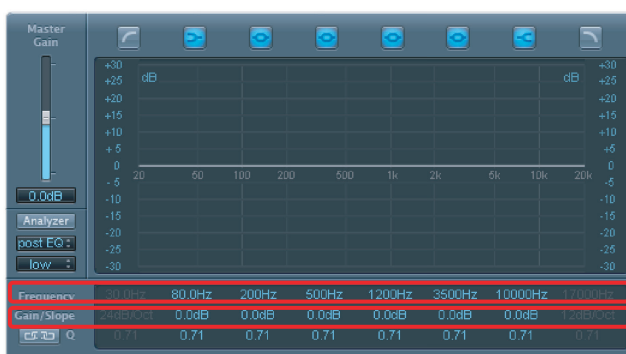


図 7. Track EQ Parameters 設定画面 (Logic Pro 8)

Scene 3: Track EQ Parameters

Control Group		1	2	3	4	5	6	7	8	9
Knob	Assign	EQ 1 Frequency	EQ 1 Q-Factor	EQ 2 Frequency	EQ 2 Q-Factor	EQ 3 Frequency	EQ 3 Q-Factor	EQ 4 Frequency	EQ 4 Q-Factor	
Slider	Assign	EQ 1 Gain		EQ 2 Gain		EQ 3 Gain		EQ 4 Gain		Master Volume
Button 1	Assign	EQ 1 On/Off		EQ 2 On/Off		EQ 3 On/Off		EQ 4 On/Off	Select Previous Track	Previous All EQs Parameter Page
Button 2	Assign								Select Next Track	Next All EQs Parameter Page

・ Scene 4: Track Instrument Parameters

選択している 1 つのトラックの、ソフトウェア・シンセサイザーのパラメーターをコントロールします。(※1)

この Scene では、nanoKONTROL 側のノブとスライダー (Parameter 1、2…) が画面上的パラメーターに上から順に対応しています。(※2)

16 個を超えるパラメーターを持つソフトウェア・シンセサイザーを音源として使用している場合、nanoKONTROL 側の Button9 (Previous/Next Instrument Parameter Page) を操作することで操作対象パラメーターを 16 個単位で切替可能です。(画面表示は変化しません。)

Button8(Select Previous/Next Track) を操作することにより、操作対象トラックが前後のトラックに切り替わります。

(例えば、Track3 のパラメーターを操作している場合、上側の Button8(Select Previous Track) を操作することで Track2 のソフトウェア・シンセサイザーのパラメーターが操作できるようになります。)



図 8. Track Instrument Parameters 設定画面 (Logic Pro 8)

※1 オーディオ・トラックでは、この Scene のアサインは無効です。

※2 使用する音源により、パラメーター数が変化します。

Scene 4: Track Instrument Parameters

Control Group		1	2	3	4	5	6	7	8	9
Knob	Assign	Parameter 1	Parameter 2	Parameter 3	Parameter 4	Parameter 5	Parameter 6	Parameter 7	Parameter 8	
Slider	Assign	Parameter 9	Parameter 10	Parameter 11	Parameter 12	Parameter 13	Parameter 14	Parameter 15	Parameter 16	Master Volume
Button 1	Assign	Mute							Select Previous Track	Previous Instrument Parameter Page
Button 2	Assign	Solo							Select Next Track	Next Instrument Parameter Page

■ 注意事項

- ・ GarageBand、Logic Pro/Express 起動中は、KORG KONTROL Editor を起動しないでください。

- ・ 本プラグイン使用時は、シーンを切り替えたときに nanoKONTROL の設定を転送しているため、シーンの切り替え動作が遅くなります。

- ・ nanoKONTROL の各ボタンの LED は、GarageBand、Logic Pro/Express の動きには連動しません。

- ・ GarageBand、Logic Pro/Express を起動中に nanoKONTROL を解除したり、コンピューターがスリープに入ったりすると、GarageBand、Logic Pro/Express をコントロールできなくなる場合があります。その場合は、GarageBand、Logic Pro/Express を再起動してください。

- ・ GarageBand では複数の nanoKONTROL を接続して使用することはできません。

- ・ 複数の nanoKONTROL を接続しているときは、Logic Pro/Express 起動中に nanoKONTROL の接続を解除しないでください。接続を解除すると Logic Pro/Express を正常にコントロールできなくなります。

正常にコントロールできなくなった場合は、以下の操作で元に戻すことができます。

1. Logic Pro/Express を終了し、接続を解除した nanoKONTROL を再度接続してから Logic Pro/Express を起動します。
2. メニューから「Logic Pro/Express」-「環境設定」-「コントロールサーフェス」-「設定 ...」を選択してコントロールサーフェス設定ウィンドウを開きます。
3. 表示されている nanoKONTROL のアイコンを選択し、それぞれ適切な MIDI ポートを選択し直してから Logic Pro/Express を再起動してください。

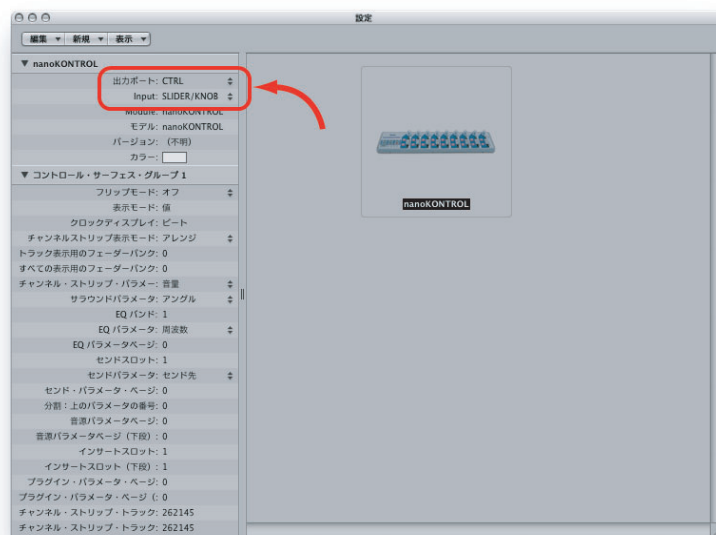


図 9. コントロールサーフェス設定画面 (Logic Pro 8)

上記の操作でも直らない場合、コントロールサーフェス設定ウィンドウで nanoKONTROL を選択して [delete] キーを押し nanoKONTROL の情報を削除した後、Logic Pro/Express を再起動してください。